

2023年11月8日
プレスリリース No.016-23

地球社会の未来の姿を、地域の人々と共に考える
「令和5年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会」の開催

このたび、静岡文化芸術大学では、「令和5年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会」を開催します。研究成果発表会は、教員特別研究費により本学教員が行った研究成果を、地域や市民の皆様などに広く発表することを目的として実施します。今年度は、令和4年度の教員特別研究から6名の教員が、それぞれの研究の成果を発表します。

■教員特別研究費とは？

本学では、教員の積極的な研究活動を支援するための制度として「教員特別研究費」を設けています。毎年度学内で公募を行い、採択された研究に研究費を配分しています。研究内容は、「静岡文化芸術大学グローバルデザイン推進ビジョン 2020」である「持続する社会のためのグローバルデザイン」沿った研究とし、とくに重点研究として3つのテーマを設けています。

1. 包摂的な文化の推進のためのグローバルデザイン
2. いのちを大切にする文化、社会、経済のグローバルデザイン
3. 遠州地域を輝かせるグローバルデザイン

重点研究のほかにも、先進的研究、文化・芸術研究センター研究等を設け、学術的な関心による研究だけでなく、地域社会の課題解決、発展に資する研究を推進しています。

■開催概要

【日 時】 2023年11月16日(木) 14:30 開場
15:00開始(18:15 終了予定)

【会 場】 静岡文化芸術大学 講堂 (入退場自由)

【対 象】 高校生以上

【参加料】 無料(申込不要)。直接お越しください。

(来場者用駐車場はありません。公共交通機関等をご利用ください)

【オンライン配信視聴】 申込不要。開催当日に大学 Web サイトに
YouTube 視聴用 URL を掲載します。

【内 容】 発表者 6 名。1 人 20 分の発表時間。



岩崎教授：静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究



ブルベス教授：AR と AI を基にした 3DCG 映像制作作用のツールの開発と実験

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 企画室

Tel. 053-457-6113 / Fax. 053-457-6123

Email. kikaku@suac.ac.jp

公式 Web サイト



令和5年度 静岡文化芸術大学 研究成果発表会

11/16^T 15:00
H)
U 18:15
令和5年
静岡文化芸術大学 講堂
参加無料(入退出自由)

- 1** デザイン学科
岩崎 敏之 教授
静岡県の歴史的建造物の構造性能評価に関する研究
歴史的建造物の修理における耐震診断とそれともなう耐震補強計画の策定には、建築構造学に基づく工学的な知見が活用される。本研究は、建築構造学、歴史的建造物の調査、歴史的建造物の履歴に関する文献調査で得られる知見を突き合わせることで、歴史的建造物の構造性能評価をするための方法論の提案を目指すものである。
- 2** デザイン学科
高山 靖子 教授
トルコと日本のデザインによる交流プログラム開発
本研究では、本学の教育と地域に資する国際交流のために、トルコ(イズミル)と日本(静岡県)の歴史・文化・産業背景から双方に有意義な交流の在り方を研究し、本学とイズミル経済大学との交流がさらに地域に貢献できる活動となるよう具体的な可能性を追求する。
- 3** デザイン学科
Jérôme BOULBÈS 教授
(ブルベス・ジェローム)
ARとAIを基にした3DCG映像制作作用のツールの開発と実験
「バーチャル・プロダクション」とは、映画製作プロセスをAIやARを用いて進めていくものであり既に新しい制作手法でなくなってきたが、「リアルタイム3DCG」などの技術進歩により注目度が高い。本研究では、独立デザイナーや小規模なデザイン・チームの視点から、バーチャル・プロダクションツールの開発とその可能性を探っていく。
- 4** 文化政策学科
田中 啓 教授
持続的な地域社会を築くための自治体行政改革のあり方の研究
地域社会の持続可能性が危惧される状況において、自治体がどのような行政改革に取り組んでいるのかを明らかにするとともに、今後の自治体の行政改革のあり方を構想・提言することが本研究の目的である。このため、全自治体を対象としたアンケート調査を実施した他、国内外の自治体の訪問調査やインタビュー調査等を実施した。
- 5** 文化政策学科
四方田 雅史 教授
「グローバル・ヒストリー」からみた戦前期農産物貿易の研究
グローバル・ヒストリーと地域史を架橋するものとして、日米牛肉・オレンジ交渉でも政治問題化した柑橘や牛肉を選んだ。日本で柑橘といえば温州ミカンであり、米国ではオレンジとなる。こうした地域性がいかに形成され、戦後どう推移したのか明らかにし、グローバル性とローカル性から「グローバル・ヒストリー」という新視角も得たい。
- 6** 文化政策学科
森 俊太 特任教授
大学教育の研究:静岡文化芸術大学のカリキュラム改革の方向性
単位制や学事暦に焦点を当てつつ、高等教育政策や大学教育制度の国際比較を行い、本学のカリキュラム改定に資する知見を得た。大学教職員や学生を対象とした聞き取りや意見交換、研究会やセミナー参加、文献調査等によりデータを収集した。研究成果の一部は、大学教育専門誌に掲載し、また、大学認証機関による研究に活用した。

講評 / 磯村克郎 文化・芸術研究センター長

オンラインで配信予定

※詳しくは大学HPをご覧ください

<https://www.suac.ac.jp/>



申し込み等は必要ありません。どなたでもご参加いただけます(入退出自由)。



a | c | c | e | s | s |

[徒歩] JR浜松駅から徒歩15分

[バス] 浜松駅バスターミナル

◆10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車

※駐車場がありませんので、車での来場は
ご遠慮ください。



(主催) 静岡文化芸術大学

お問合せ

〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学企画室(担当/朝日)

[TEL] 053-457-6113 [mail] kikaku@suac.ac.jp

